



地域をまたいだ避難所の開設・運営及び地域、小中学校、消防団の協働連携について



特定非営利活動法人
薦原地域づくり委員会
会長 古谷 久人



地縁法人
美旗まちづくり協議会
会長 東田 行泰

三重県名張市

1 はじめに

名張市薦原地域と美旗地域では、両地域の住民の避難が想定されます指定避難所（名張市立北中学校）について、これまでに避難所運営委員会を組織し、避難所開設・運営訓練など継続的に実施するとともに地域と小中学校、消防団の連携の強化を図るための様々取組みを進めてきました。

今回寄稿の機会をいただきましたので、両地域の取組みについてご紹介させていただきます。

2 地域をまたいだ避難所の開設・運営

（1）北中学校避難所運営委員会の立ち上げ

隣接した2つの地域が1つの避難所を使用することによる混乱を防止するため、両地域から選出された役員、施設管理者である北中学校長、市職員などから構成されます北中学校避難所運営委員会を平成29年に立上げ、以来年4～5回の役員会等を開催することにより当該年度の事業計画や防災訓練の実施内容など検討するとともに平素から関係者相互の顔の見える関係の構築に努めています。

（2）避難所開設・運営訓練の実施

例年11月の第3土曜日に名張市総合防災訓練が開催されますが、その機会を活用して、北中学校において、住民を主体とした避難所の開設・運営訓練を実施しています。

本訓練では、毎年、避難所におけるペットの受入れや子ども居場所づくりなどの新しいテーマを取入れて、訓練内容の充実を図っているところです。

また、名張市では総合防災訓練に授業の一環として市内の小中学校が参加していることから、避難所となる北中学校の生徒も避難所の開設や運営組織の一員として、訓練の企画



北中学校生徒による避難所用物資の搬出及び簡易テントの開設



簡易トイレの体験避難所の開設訓練の様子

段階から参加して、防災意識を高める場として活用しています。

3 地域と小中学校、 消防団との協働連携

前述のような避難所の開設・運営に関する取組みに加えて、両地域では地域の防災の要となる地域、小中学校、消防団との連携の強化に努めています。

名張市では市内全ての小中学校が学校運営協議会設置校（コミュニティ・スクール）となっており、防災のみならず地域と小中学校が一体となって地域の担い手を育成する土壤があることを活かして、総合防災訓練などの機会を活用して3者による協働連携を図っているところです。

両地域では、各地域内の小学校の校庭や体育館などにおいて、総合防災訓練の際に地域住民と児童、教職員、消防団員により、防災講話、消火器などによる初期消火訓練、AED等を使用した救急法訓練、土のうの作成や災害伝言ダイヤル体験など様々な防災スキルを修得するための訓練を実施するとともに避難所に実際に宿泊して、様々な制約のある避難所の生活を体験し、お互いに協力し合うことやルールを守ることの大切さを学ぶ防災キャンプを例年実施しています。

例年、訓練に参加した児童などに対してアンケートを実施していますが、このような活動を通じて、子どもたちの防災意識の高揚や地域の一員としての自覚の醸成など地域の担い手が確実に育っているという手ごたえを感じております。

今後もこのよう

な取組みを継続して、両地域が一体となった災害に強いまちづくりを進めて参りたいと思います。

防災キャンププログラムの一例

時間	薦原地域のプログラム
16:30	受付開始
17:00	オリエンテーション、スタッフ紹介
17:30	避難所カードゲーム
18:10	水運びレース
18:30	夕食作り アルファ米、味噌汁等
19:30	地震探検ゲーム、火起こし体験等
20:40	防災テントづくり
21:00	就寝準備、自由時間
22:00	就寝
6:30	起床
6:45	ラジオ体操
7:00	朝食 菓子パン、ホットカルピス
7:45	防災〇×ゲーム
8:15	感想文作成
9:00	解散式
9:30	解散



救急法訓練（美旗）



土のう作成訓練（薦原）



災害伝言ダイヤル体験（薦原）

地域・小中学校・消防団による合同防災訓練の様子